
GOD EATER 《偽りの救世主》

くまた

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

G O D E A T E R 《偽りの救世主》

【Nコード】

N 9 4 0 6 Y

【作者名】

くまた

【あらすじ】

ゴッドイーターとなった少年『ウェイド』は力を欲した。大切なものを守りたかったから。その思いは、彼の人生を大きく歪ませるきっかけとなった。

ひたすら非公式の任務をこなす中、ウェイドの極東支部配属が決まる。それは彼を変えるきっかけとなった。

極東支部の人々と彼が交わる時、物語は始まる。

基本的に原作沿いです

プロローグ

少年は白のベッドに腰掛けながら周囲を見渡した。清潔感あふれるその空間に、僅かな不快感を覚える。

清潔すぎるのだ、ただ白いだけのこの空間は。

『……それで?』

そんな空間に、微かに加えられる声があつた。少年のものではない。

その声はスライド式の扉の向こうから聞こえてくることから、部屋の外から漏れていきているのだな、と少年は思考して、微笑する。外にいる声の主は、自分が寝ているとも思っているのだろうか?

『ハイ。身体能力は上々。現場での精神の乱れもありません』

『ふむ。今日の結果は?』

『ついに、単独での「ディアウス・ピター」の討伐を完了させました』

『すばらしいな』

会話が成立している所を見ると、扉の向こうには二人以上の人間がいるらしい。『何か』の研究成果を語っているように聞こえる。

そして、誰よりも少年は理解していた。その『何か』を。

だからこそ、この少年は誰よりも苦しんでいた。

「……クソ野郎どもが」

憎悪を滲ませるその眩きは、誰にも届くことはなく、この清潔な空間に空しく飲み込まれていく。

確かに自分は『力』を欲した。自由と引き換えに。そこまでは我慢できた。

大切なものを守りたかったから。

*

2050年、突如出現した『オラクル細胞』。はじめはただの単細胞にすぎなかったそれは、一年も過ぎないうちに、変異し、進化した、そして、世界を支配した。

偽りの神、『アラガミ』として。

彼らに容赦はなかった。あるのは原始的な欲求のみ。『食欲』だ。あらゆる物質を『捕食』し、その物質の特性を自らのものとする。

アラガミの出現に対して、人類は手を打った。軍隊派遣。

しかし、アラガミたちはそんなことでは揺らがなかった。ありとあらゆるモノを捕食する彼らの前では、既存の兵器では全くと言っていいほど無意味。

そんな中、生化学企業『フェンリル』と呼ばれる組織は、オラクル細胞の研究をいち早く始め、その対抗策を生み出した。

それが、『ゴッドイーター』だ。アラガミの身体を構成するオラクル細胞で構成される対アラガミ用特殊兵器『神機』を扱うことのできる、まさしく『神を喰らうモノ』。

この世の救世主となる者たち。

その救世主達の中に、一人の少年が存在した。ゴッドイーターに

選ばれたその少年は、力を欲した。

それが、彼の悲劇を生むきっかけとなった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9406y/>

GOD EATER 《偽りの救世主》

2011年11月28日01時54分発行